



まちの話題

技を磨きチーム力を磨く

松浦ロータリー杯少年サッカー大会

松浦ロータリークラブ(中山吉則^{なかつま よしのり}会長)主催の第17回松浦ロータリー杯少年サッカー大会が3月3日、志佐小学校運動場で開催されました。大会には、市内外から4クラブ8チームが参加。U-12(6年生以下)の部とU-9(3年生以下)の部に分かれ、選手たちは声援を受けながら熱戦を繰り広げました。大会の結果は次のとおりです(敬称略)。

【U-12の部】①御厨 SC

②チームブルー (御厨・青島)

【最優秀選手賞】《U-12》上場真凧斗(チームブルー)

【U-9の部】①口石 FC

②御厨 A

【最優秀選手賞】《U-9》吉田董哉^{よした とらや}(口石 FC)



こだわりの品が勢ぞろい

第4回春のお菓子祭り in まつうら

第4回春のお菓子祭り in まつうら(松浦お3時プロジェクト主催)が3月10日、(道の駅)松浦海のふるさと館漁村体験学習施設で開催されました。

会場には、松浦産のマーコットを使った長崎短期大学とのコラボ商品や限定商品など、お店の技とこだわりが詰まった商品が並び、プロから学べるお菓子づくり体験なども行われました。会場には、お菓子以外の物販や休憩スペース、写真撮影コーナーが設けられ、訪れた人たちは、自分で作ったお菓子や購入した商品を味わいながら、イベントを楽しんでいました。



市の花「つばき」が勢揃い

福島つばき祭り

第46回福島つばき祭り(松浦福島つばき会主催)が3月2・3日の両日、福島武道館と同武道館前お祭り広場で開催されました。

会場では、ツバキの盆栽や鉢物の展示、ツバキの花苗販売や園芸指導のほか、町内の小中学生による「つばき」を題材にした作品展示、特産物の販売などが行われました。また、松浦福島つばき娘も販売をお手伝いし、会場を華やかにしていました。

この日、市内外から訪れたのツバキの愛好家たちは、展示品を眺めて、育てた人との会話を楽しみながら、ツバキの魅力を再確認していました。



今福商店街案内所開所!

第7回今福和一処祭

今福商店街案内所「くるくるハウス」開所記念イベント第7回今福和一処祭(松浦商工会議所今福支部主催)が3月3日、旧レストラン磯香の横にある広場で開催されました。当日は、新鮮なカキをその場で味わえるカキ焼きコーナーが設けられ、家族連れや友人同士のグループでにぎわいました。ほかにも、地域のお店が農産物や和洋菓子、アジフライなどこだわりの一品を販売し、訪れた人たちはお店の人との会話や買い物を楽しんでいました。

今福商店街案内所は、商店街店舗のチラシやマップの設置など、地域の細かな情報を発信する拠点となります。(開設時間:午前9時~午後4時) ※通常無人



全国の舞台へ

柔道クラブ「伊心館」全国大会出場

豊川海音さん(福島養源小学校5年生)が所属する少年柔道クラブ「伊心館」(伊万里市)が、2月3日に佐賀県総合体育館柔道場にて行われた同大会の佐賀県予選において見事初優勝を果たし、5月に東京都で開催される第39回全国少年柔道大会への出場権を獲得しました。

「伊心館」は、伊万里市などから小学生が集まり、週4日伊万里警察署の道場で練習に励んでいます。豊川さんは、昨年9月から柔道を習い始めて熱心に練習に打ち込み、2月の有田町柔道大会で3位入賞を果たすなど、各種大会で好成績を残しています。豊川さんは「柔道では寝技が得意なので、その練習を頑張っています。試合では、チームの勝利に貢献できるように、強気で臨んでいます。全国大会でも一位を目指して頑張ります」と抱負を述べました。



地域に根差した活動が評価

高齢者地域活動貢献団体表彰

福島町の優愛の会(永田俊子代表)が、2月16日に開催された平成30年度長崎県高齢者いきいきフォーラム県民大会(主催:長崎県、長崎県すこやか長寿財団、長崎県老人クラブ連合会)において、高齢者地域貢献活動団体として表彰されました。

優愛の会は、現在会員が21人。福島町婦人会の解散を機に、平成18年に「人に優しく、人に愛されるような会」を目指し結成され、福島地区において、配食サービスや地域の美化活動、地域イベントへの炊き出しの協力など、多岐に渡るボランティア活動を行われています。特に、配食サービスは、手作り弁当を手渡しで届けることで、生活支援や見守りにもつながっており、その活動が「地域の支えあい部門」で高く評価されました。



大人も子どもも絵本を楽しむ

長谷川義史さん『絵本ライブ』

絵本作家の長谷川義史さんによる『絵本ライブ』が3月10日、生涯学習センター(きらきら21)で開催されました。

この取り組みは、教育委員会や図書館が平成30年度から取り組みを始めた「家読活動推進事業」の一環として大人を対象に実施したもので、当日は120人が参加しました。

長谷川さんは、エピソードを交えながら、著書の「おならまんざい」や最新作「おいせまいり わんころう」など計7冊の絵本を朗読。また、その場で絵を描き上げるライブペイントも行われ、来場者たちは、ユーモア溢れるトークで笑ったり、平和への思いに触れ涙を浮かべたりして、熱心に聞き入っていました。



新たな拠点の誕生に向けて

(仮称)市民福祉総合プラザ安全祈願祭

(仮称)市民福祉総合プラザの安全祈願祭が3月13日、市役所正門玄関前の建設予定地で行われました。

この日、工事請負業者や地域、関連する団体の代表者など関係者ら約40人が参列し、工期中の無事故・無災害を祈願しました。

(仮称)市民福祉総合プラザは、地上4階建て、延床面積は約2,600平方メートルで、「老人福祉センター」、「社会福祉協議会」、「保健センター」、「長寿介護課(地域包括支援センター)」、「市民交流プラザ」の5つの機能を持つ、福祉の拠点と市民の交流の複合的な施設です。

開館は、来年5月を予定しています。



▲完成イメージ図

